



事例報告

島根大学附属図書館蔵  
「桑原文庫」に関する  
ギャラリー作成  
-ギャラリーは二人二様-

島根大学附属図書館





令和6年1月29日（月）

ジャパンサーチ連携機関向けギャラリー作成ワークショップ

# 自己紹介

島根大学附属図書館（本館）

 佐藤 陽子……雑誌契約、リポジトリ管理等

 田中 やよい…貴重資料出納と保全、参考業務、SA管理等

# 桑原文庫



島根県松江市出身の  
美術研究家・コレクターである桑原羊次郎  
(1868-1955) の蒐集品のうち  
当館に寄贈された古典籍、書籍、絵図、  
直筆原稿、書簡など  
約3,900点 (目録作成分) からなる



はじまりは  
2023年  
3月



「9月に日本資料専門家欧州協会  
(EAJRS) 年次大会で桑原文庫の  
『欧米美術行脚』を使って研究  
発表を行います。  
一緒に参加されませんか？」



「オンライン発表なら喜んで参  
加します！」

(となると、9月までに発表に関  
連する桑原文庫資料の電子化と  
公開はもちろん、デジタル展示  
もやりたい.....)

「田中さん、手伝って！」



# ジャパンサーチのギャラリーを選択した背景

## 01

学内のホームページ作成システムや、HTMLとCSSで組むのが手間だった

## 02

2023年6月時点で本学とジャパンサーチと連携がスタートする話を聞いており、何か出来ることはないかと思っていた

## 03

すでに公開されているギャラリーが素敵な雰囲気だった



# ちょっと待った！

他の職員と共同編集できる？

できる！

バックアップはとれる？

とれる！

デジタルアーカイブにない画像も使える？

使える！

公開後の修正はできる？

できる！



2023年/月

内 容

3月下旬

- 新規公開資料の選定を共同発表する研究者の方に依頼、その他関連資料の選定



4月

- 著作権の確認、撮影リスト（全95点）作成
- 目録担当に書誌作成を依頼（一部）
- 撮影環境の整備 ④ 撮影台の改造、物品購入、作業マニュアル作成



5月

- スチューデント・アシスタント（SA）による撮影開始  
→撮影後、資料の出納、画像の確認・保存、撮影リスト入力
- デジタル展示方法を検討



7月

- 「欧米美術行脚」関連資料の撮影完了 →「ギャラリー」作成準備



8月

- 「展覧会目録」関連資料の撮影完了 →「ギャラリー」作成準備
- ジャパンサーチにアカウント登録
- SAによる撮影終了



9月

- 撮影画像の整理 ④ 複本の取り扱い、デジタルアーカイブに表示する資料種別（写/刊、洋/和）確認
- 新規公開資料画像を本学デジタルアーカイブにアップロードするよう依頼
- 本学デジタルアーカイブで新規公開資料画像を公開 →ジャパンサーチに反映される
- ジャパンサーチ「ギャラリー」にて『桑原羊次郎の欧米美術行脚～日英博覧会を中心に～』と『桑原文庫「展覧会目録」の世界』を公開
- 第33回日本資料専門家欧州協会（EAJRS）年次大会で紹介



# “桑原羊次郎の欧米美術行脚～日英博覧会を中心に～”の場合

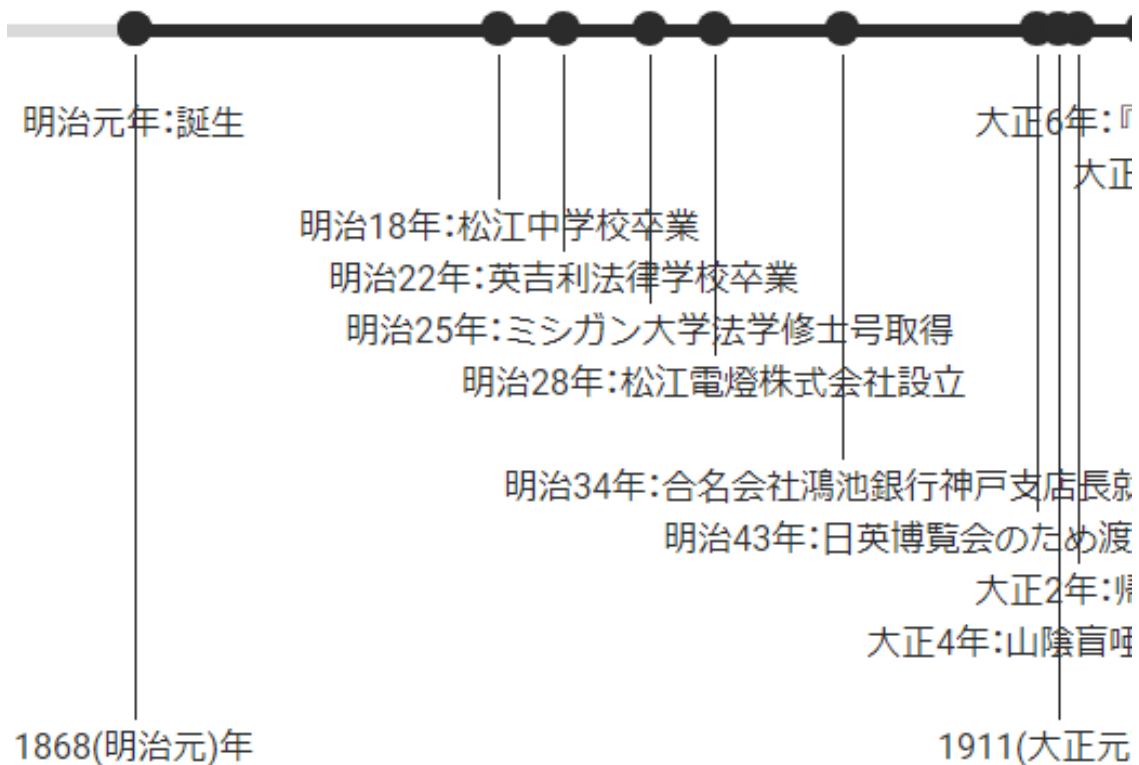
トップ / ギャラリー / 桑原羊次郎の欧米美術行脚～日英博覧会を中心に～

資料配置等を工夫  
して文字資料を  
魅力的に見せたい

とにかく  
新しい機能を使  
ってみたい



## 年表



## リスト>地図



年表や地図は自分の技術では再現が難しいので、絶対に使ってみたかった機能。おかげで、桑原羊次郎の業績の多様性や欧州をまたがっての活躍がわかりやすく可視化された。



リスト > 



日本装剣金工史 (本編)

国立国会図書館

### 主な著作



日本装剣金工史 附図

国立国会図書館

画像 > 

藩の御用商人の家系に生まれ、  
取得後、三井物産や鴻池銀行等  
をする中で、欧米人が刀装具  
ている様子を目にして興味を持  
、神戸や東京、欧米でそれら  
では主に郷里の松江で文化・社  
こ87歳で世を去った後、松江市



図書館蔵

画像 > 



Japan-British Exhibition, 1910 Shepherd's Bush, London fine arts catalogue

1910年にロンドンのシェパーズ・ブッシュ (Shepherd's Bush) という場所で日英博覧会 (Japan-British Exhibition) が開催された。同博覧会の会場にはいくつか展示会場があったが、その中の一つが日英美術館 (Palace of Japanese & British Fine Arts) であった。同館は第二十六号館とも呼ばれた。本書はその日英美術館で展示された英国と日本の美術品を記録したものである。ナショナル・ロンドン美術館の建物は同地で一年前に開かれた日英博覧会 (Japan-British Exhibition) の際に建てられた。



資料の紹介をするにあたり、様々な配列方法が選べるのは非常に魅力的。  
単なる資料の紹介、人物紹介、詳細な説明文を付したい場合等、状況に応じて選択した。



# “桑原文庫「展覧会目録」の世界”の場合

トップ / ギャラリー / 桑原文庫「展覧会目録」の世界

集菟氏  
畫筆肉  
録目會覽展

資料単体では  
見えづらい  
資料群の特徴を  
紹介したい

所蔵資料利用を  
促進するための  
「出店」にしたい



# 目次

## ①松江市で開催された展示

- 桑原羊次郎について
- 島根大学附属図書館「桑原文庫」

### (1)山陰地域に関連する展示・催事

#### ①松江市で開催された展示

- ②「記念」の展示
- ③「不昧公」顕彰
- ④さまざまな主催団体の展示

#### (2)桑原洋次郎の軌跡

- ①鑑賞会、茶会、売立に参加する羊次郎
- ②鑑賞に出かける羊次郎
- ③出陳をする羊次郎
- ④肉筆浮世絵と羊次郎
- ⑤刀装具と羊次郎



パート、ヒュ  
品展覧會

開催年:1923



第一回島根懸美術及工藝品展覧會

島根大学附属図書館

(会場:興雲閣ほか) / (開催年:~1925年) / 登録番号:2156688



参考(『第一回島根懸美術及工藝品展覧會』)

島根大学附属図書館

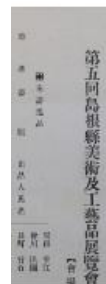
(会場:興雲閣ほか) / (開催年:~1925年) / 登録番号:2156689



第二回島  
會 ※

島根大学附

(会場:興雲  
登録番号:2



工藝品展覧



第一回特別陳列會 ※

島根大学附属図書館



矢野陶々・作陶展

島根大学附属図書館



竹田重樹

島

「山陰地方で開催された展示等に関するもの」「資料中に山陰地方に関係する事物が確認されるもの」「桑原がコレクション品を出陳していることが確認されるもの」に分けて説明。





## 桑原氏所蔵浮世繪肉筆展覽會

※



(会場:文化堂) / 開催年:1924年 / 登録番号:2156671 / ※桑原羊次郎所蔵  
の肉筆浮世絵の展覧会



## 京窯展覽會 ※

島根大学附属図書館



主催:篁笠倶楽部 / 開催年:1920年 / 登録番号:2156665.  
※「所蔵者名」「雙蛙」記載あり(煎茶器など出陳)

書誌情報にない場合も、調査の結果として推定等できた情報（展覧会の開催年（記載内容を基に調査）、桑原の出陳記録（資料選定時に確認）等）を積極的に盛り込んだ。



## 公式X（旧ツイッター）の表示件数

ジャパンサーチのXで新規ギャラリーを紹介してくれる

ジャパンサーチ（2ポスト合計）：約21,000※1,2

島根大学（4ポスト合計）：5,830※2

👉 発信力が当館X「表示件数」の3～4倍

※1 1ポストの表示が10,000を超過すると1,000以下の端数が表示されないため概数

※2 いずれも2024年1月18日時点

## アクセス数（2023年9-12月）

997件※3

※3 ギャラリー2件総計。連携機関の関係者以外のアクセスのみ

👉 当館独自作成の電子展示（2022年度企画展「ラフカディオ・ハーンの手紙」と連動した小泉八雲の自筆書簡画像データ公開ページ）の初動4カ月の学外からのアクセス数1,764件。  
ギャラリーに移行させるともっとアクセス数が増加するかも？

特にXにおいて出店の効果を実感



## ギャラリー機能の利点

- webに詳しくなくても、慣れればパワーポイント作成の感覚で作業できる
- 実装に手間のかかる機能を選択できる（地図等）




もし  
よろしければ...

## 修正希望

- 編集画面の挙動がもっと軽快になると良い
- 編集上の項目名称が直感的なものになると嬉しい
  - ☞ 地図機能が「リスト」にある等
- 資料画像のサムネイルを編集画面で「回転」して保存した場合、その回転した情報を「ギャラリー」上の表示に反映してほしい
  - ☞ 例えば、刀剣陳列會... のサムネイル画像  
<http://iss.ndl.go.jp/books/R100000116-I000007179-00>

## 実装希望

- Microsoft officeのような文字の「検索」「置換」機能
  - ☞ 軽微な表記ゆれの修正が全箇所手作業となるのがつらいため
- 個々の資料について、利用者の反応が分かるツール
  - ☞ 資料を利用したとのコメントがくれば「成果」として報告しやすい
- ギャラリーの更新内容を表示する画面
  - ☞ 現行のギャラリーを「基本展示室」のようなものとして扱い、資料の一部入替、追加などを行ってみたいため
- 個々のデジタルアーカイブにアップロードした資料を即時ハートベストし、ギャラリーで使用できるようにする機能
- 文字入力枠の拡大
  - ☞ 文字を多く入力すると画面上で全体像が把握しづらくなる



## ギャラリー

- 桑原羊次郎の欧米美術行脚～日英博覧会を中心に～  
[https://jpsearch.go.jp/gallery/libshimane\\_u-wkl7RdnDJw](https://jpsearch.go.jp/gallery/libshimane_u-wkl7RdnDJw)
- 桑原文庫「展覧会目録」の世界  
[https://jpsearch.go.jp/gallery/libshimane\\_u-OOG6xPaNRKx](https://jpsearch.go.jp/gallery/libshimane_u-OOG6xPaNRKx)

## 報告等

- 「『欧米美術行脚』、桑原文庫、島根大学附属図書館 デジタル・コレクション: インターネット時代のリソース」(後半)  
<https://www.eajrs.net/obei-bijutsu-angya-kuwabara-collection-shimane-university-library-digital-collections-2023>
- 附属図書館ブログ「第33回日本資料専門家欧州協会 (EAJRS) 年次大会に参加しました」  
<https://shimadai-lib.hatenablog.jp/entry/2023/09/21-1/1-132228>
- 第64回中国四国地区大学図書館研究集会 事例報告「デジタル化を通じた貴重資料の利活用」  
(島根大学附属図書館 田中やよい)  
<https://simone2.lib.okayama-u.ac.jp/?p=606>



関連URL